

令和 7 年度 事業計画書【簡略版】

令和 7 年 4 月 1 日から
令和 8 年 3 月 31 日まで

基本方針

少子高齢化の進行による生産年齢人口の減少は、今後の労働者確保に向けて介護業界ばかりでなく全産業に共通した重要課題となっています。また、発生から 1 年が経過した能登半島地震の復旧復興の遅れは、毎年頻発している豪雨災害などの大規模災害や感染症に対し、日頃からより一層精度を高めた備えの必要性を投げかけてくれています。

国では生産年齢人口が減少している中で、

1. 持続可能な社会保険制度を構築するため給付と負担のあり方検討
2. こども・子育て支援の拡充
3. 医療・介護の連携強化
4. 介護予防と健康づくりに向け地域内で共に支え合いながら誰もが住み慣れた自宅や地域で自分らしく安心して暮らし続けられる地域包括ケア体制の構築
5. 自立支援や人材不足等の対策による科学的介護の推進

など、社会保険に頼らない健康な高齢者を支援する取り組みに力を入れています。

とりわけ生産年齢人口減少に対応して、介護現場で行われている業務にどのようなムリ・ムラ・ムダがあるのかを見直し、従事する職員の負担軽減や少ない人員配置でも従来のサービス提供が可能となるような生産性向上に向けた I C T 機器導入などの取り組みを後押ししています。

設立から 25 年目の当法人は、本年度は第 7 次中期計画の初年度にあたりますが、労働環境や高齢者をめぐる社会環境が変化する中で、共に J A 松本ハイランドの組合員の願いを実現する形で創設された社会福祉法人ジェイエー長野会と令和 8 年 4 月 1 日の事業統合を目指し、両法人事業統合推進委員会を令和 6 年 11 月 27 日に立ち上げ協議を開始し、単年度の事業計画に沿って事業を進めることとしました。

この事業統合により経営基盤を強化して、将来にわたり松本地域の福祉ニーズに応えられる体制づくりの取り組みを進めると共に、当法人が主に事業を展開する松本市の「第 9 期高齢者福祉計画」に盛り込まれた従来の福祉計画のシンカ（深化、進化）への取り組みと、令和 6 年度までの第 6 次中期計画に掲げた「利用者」「地域」「人財」「経営」をキーワードとした基本方針と基本目標をベースにした事業計画に基づき、医療との連携や地域包括ケアシステムの深化・推進による利用者満足に向けた取り組み、人材定着率の改善を通じた人材の育成・確保への取り組み、生産性向上への取り組みなどを進めてまいります。

2025ビジョン

住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる地域共生社会の実現に貢献する。

基本方針

【利用者】

一人ひとりの尊厳を大切に
し、自立支援に向けた取り
組みの推進

【地域】

地域における様々な福祉課
題・生活課題に地域と連携
した取り組み

【人財】

高度な専門性を持った
多様な福祉人材の
確保・定着・育成

【経営】

信頼性の高い効率的な
事業運営を行う
健全な経営の確立

基本目標

「その人らしく生きる」
自立支援

認知症の支援強化

看取り支援の強化

利用者満足・家族の安心を
得るサービス提供

多様な担い手との連携

公益的な活動

認知症啓発活動

働きやすい職場環境づくり

将来を担う福祉人材育成

福祉人材の確保

法令遵守と
ガバナンス強化

健全な財務規律

技術革新を通じた
労働生産性の改善

情報発信の強化

災害・非常時への
対応強化

長期的視野に立った
事業展開

社会福祉法人松本ハイランド経営理念

1. わたしたちは、地域とともに歩み、支え合い、助け合う地域福祉をめざします。
1. わたしたちは、一人ひとりの尊厳を大切にし、自分らしいくらしの実現に向け支援します。
1. わたしたちは、笑顔と思いやりの心、責任と誇りを持ちより高い目標に向かい、惜しみない努力をします。

令和7年度事業計画(基本目標・実施具体策)

【利用者】

基本目標	実施具体策
1.1 利用者が「その人らしく生きるための自立支援取り組み」のための自立支援に取り組めます。	1.1その人らしく生きるための自立支援取り組み強化 (1)利用者の自立支援に取り組むため、関わる職員の資質向上を目的とした研修等の実施及び参加 (2)各事業所ごとに自立支援・介護予防・重度化防止対応実施 (3)利用者を取り巻く多職種連携を活発に実践 (4)LIFEの活用・フレイル予防の取り組み
1.2 認知症の支援(取り組み)を強化します。	1.2認知症についての教育強化～専門的な取り組みの強化～ (1)職員の認知症理解促進対策 (2)認知症に関する職員の資格取得の推進
1.3 看取りの支援を強化します。	1.3自分らしい最期を迎えるための取り組み強化 (1)「自分らしい最期」について自己決定を主眼とした学びの場を提供 ・各事業所で看取り支援の研修に参加し、職員会議等で報告し情報共有 (2)看取りの支援に対する職員教育の強化(アドバンスケアプランニングACP含む) (3)各事業所毎で看取り支援の実施と振り返り (4)リビングウィル(事前指示書)の推進・定着強化。研修参加 (5)グリーフケアの実施 (6)ふれあい健康教室等で地域住民に対してリビングウィルの周知
1.4 利用者の満足・家族の安心を得るサービスの提供に努めます	1.4.1利用者本位の支援の実現 (1)個別ケアを重視したケアの提供 (2)職員が相手の思いを組むことができる感性を醸成するための支援強化～相談援助技術の向上～ (3)利用者家族との連絡、連携の強化、ヒヤリハットの活用や、危険予知トレーニングの活用による事故防止 1.4.2利用者の安心・安全の確保を実現 (1)利用者の満足度調査の実施 ・家族会の実施 (2)リスクマネジメント対策 ・事故防止対策の強化。事故情報の分析と活用。 ・苦情解決、相談体制の確立 ・安全対策体制の確立 (3)法令順守マニュアルの周知、点検 (4)感染症対策の強化、点検 (5)身体拘束・虐待防止対策の強化、点検
1.5 サービスの質の向上に向け取り組みます。	1.5.1職員の資質向上を図る (1)質の向上に向けた取り組み～多岐にわたる研修への参加～ (2)法人内職種間交流の強化～職種間レベルの均一化 1.5.2サービスの質の向上対策 (1)サービスの自己評価の実施・検証・改善 (2)第三者評価の受審 (3)サービスの情報公表の適正実施 (4)LIFEの活用とLIFEへのデータベースとフィードバックの活用におけるケアの向上

【地域】

基本目標	実施具体策
2.1JAをはじめ様々な福祉ニーズの「担い手」とのつながりを強化します。	2.1.地域包括ケアシステムの多様な担い手との連携 (1)JAをはじめとする地域にある多様な組織(ボランティア、自治会)との連携 ・地域行事、福祉ひろば、公民館活動への参加 ・地域づくりセンター、地区生活支援員、民生委員との連携づくり ・第三者委員・運営委員との情報交換 ・夢あわせの会ゆめの里支部の活動計画作成、実施 ・JA組合員へJA支所だより等広報誌を通しての情報提供 ・ボランティア団体との懇親会を実施 ・ボランティアの定期慰問、作業ボランティアの受け入れ ・地域交流事業の開催(夏祭りなど) (2)行政・地域包括支援センターとの連携強化 ・行政との情報交換の実施(随時) ・地域包括支援センターと連携、情報共有、勉強会参加 ・地域ケア会議参加 ・信州大学、松本大学や、福祉関係の学生との交流促進 (3)医療機関、他の社会福祉法人、団体等との連携 ・協力医、主治医との連携・情報共有・他法人事業所との意見交換会実施 ・信州大学、松本大学や、福祉関係の学生との交流促進 ・高齢協や経営協の会議等へ参加、情報交換 ・ジェイエー長野会施設(うつくしの里)との情報交換会開催 ・地域包括支援センターの職員より地域課題と私たちの役割について研修を開催 (4)ボランティアの育成 ・ボランティア体験希望者の受け入れ ・松本社協のボランティアセンターとの連携 ・地域ボランティアとの交流、意見交換会実施
2.2地域における公益的な活動に取り組めます。	2.2公益的な取り組みに向けた地域の多様な主体との連携・協働 (1)社会福祉法人における社会的役割の認識を深める ・社会福祉法人としての社会的役割についての勉強会実施 (2)地域課題解決に向けた公益的活動の実施 ・地域課題の把握(地域住民、地域支援員との懇談等) ・地域行事や活動の参加 ・法人内事業所、多職種連携による出張デイスサービス、介護予防教室等開催(公民館活動実施) ・移動困難者への買い物支援の継続(JAとの協同活動) ・地域住民に役立つ情報発信(リハビリ、認知症、健康増進等) ・オレンジカフェへの参加、地域サロンの立ち上げ支援・定期的な開催 ・保育園・小学校・中学校等公共施設への啓発活動の実施 ・施設スペースの開放
2.3認知症についての啓発活動に取り組めます。	2.3認知症啓発活動の推進 (1)地域住民等への啓発、地域との連携強化 ・認知症サポーター養成講座開催 ・認知症サポーター養成講座修了者へのフォローアップ研修開催 ・地域住民へ向けた認知症についての研修会開催 (2)地域に向けた情報誌発行

【人財】

基本目標	実施具体策
3.1働きやすい職場環境づくりを推進します。	3.1.1働きがいのある働きやすい職場環境の整備 (1)各事業所における職場環境改善の取り組み - 生産性向上に向けた全職員参加型の職場環境改善への取り組み - 労働安全衛生教育の取り組み - 職場環境改善活動(5S活動)の実施 - 職員満足度調査や意向調査実施 - 職場環境改善の好事例の共有化 - ハラスメントのない職場づくり (2)業務の効率化 - 全事業所において生産性向上の取り組み - 職種・職務別に業務内容の見直し、業務の洗い出し、分担の見直し - ICT導入と効果の検証 3.1.2人材の定着に向けた取り組みの強化 (1)組織風土づくり - 各事業所で実施する人材定着に向けた取り組み支援 - 職種・階層別ワークショップ開催など職員間のコミュニケーション強化 (2)福利厚生施策の充実 - リフレッシュ休暇(有休含む5連休)取得促進 - 福利厚生費等の有効活用(各事業所裁量で使用可能な活用) (3)多様な働き方の検討 - 長野会との事業統合後の柔軟な雇用制度、勤務体制の研究・検討 (4)職員への継続的なフォローアップ - 法人内産業保健スタッフによる定期的な職員面談 - 職員へのキャリア教育 ・メンター制度の研究 3.1.3職員の安全と健康の確保 (1)メンタルヘルスケアの推進 - 心の健康づくり計画の策定と計画に沿った実施 - 相談窓口の周知徹底 (2)腰痛予防・病気予防等健康づくり - 職場における腰痛予防体操の取り組み ・腰痛予防研修の実施 - 腰痛健康診断の実施 ・職員の健康管理指導 (3)労働災害防止の取り組み - 労災視点のヒヤリハット報告 - 安全衛生事業所訪問の実施
3.2将来を担う福祉人材を育成します。	3.2.1専門的な知識、技術向上の取り組み (1)全事業所で人材育成の取り組み強化 - 外部研修への参加奨励と研究成果の共有 - 内部研修の拡充 (2)資格取得の推進 - 計画的な資格取得奨励 (3)新人教育制度の整備 - 入職後研修の拡充 - 新人教育担当者の育成・法人内の標準化 3.2.2総合的な人材マネジメントシステムの構築 (1)ジェイエー長野会との事業統合に向けた人事制度の調整 - 給与体系を含めた、職務基準、等級制度、評価者研修等の検討と調整 (2)体系的な研修プログラムの再構築 - 全職員が経営理念やビジョンを再確認する研修 - 階層別研修 - 実践型、ディスカッションできる研修企画実施
3.3福祉人材の確保に取り組みます。	3.3.1戦略的な採用活動の取り組み強化 - 介護・看護にかかる教育機関への情報発信 - 職員による出身校への働きかけ・派遣 - ホームページ・SNSを利用した採用活動実施 - 小中高校における福祉教育への積極的な協力 - 実習生の積極的な受け入れと受け入れ体制の強化 (介護福祉士・社会福祉士・管理栄養士・ボランティア・介護支援専門員・在宅看護実習生等)

【人財】

基本目標	実施具体策
3.3福祉人材の確保に取り組みます。	3.3.2法人のブランド力強化 - 法人の理念の実現に向けた各事業所の特色の取り組みと情報発信 3.3.3多様な人材を確保し活躍してもらえる仕組みづくり - 職員の働き方を考慮した配置 - 多様な人材、多様な働き方を支援する体制づくり - 障害者の法定雇用率確保と障害者活用研究

【経営】

基本目標	実施具体策
4.1 法令遵守(コンプライアンス)の確保とガバナンスの強化に取り組みます。	4.1.1コンプライアンスの徹底・強化 - コンプライアンスチェックの実施・検証によるコンプライアンス体制の確立 - 内部通報制度の周知と通報時の対応強化 - 諸規程等の見直し・整備と、事業統合後の諸規程等の確認と周知 4.1.2ガバナンス(組織統治)の強化 - 各種リスクや倫理観の欠如等による施設・法人に対する信用信頼の失墜に繋げないための機能強化に向けた体制整備 - 目標達成に必要な仕組みの整備と、適切な運用による内部統制の確立 - 第三者委員会、運営推進会議等の機能発揮
4.2 健全な財務規律の確立に取り組みます。	4.2.1収支改善に向けた取り組みの強化 - 全部署で管理会計(各種月別経営分析の実施、財務状況の把握)に基づいた実績・収支管理の徹底による安定した経営の確立による地域からの信頼確保 - 定期的な部署別収支改善会議の開催 - 長期的な視野に立った修繕・改修・更新計画の策定 - 各種助成金の活用 - 法人一括購入物品の選定及び発注で経費削減
4.3 技術革新を通じた労働生産性の改善に取り組みます。	4.3.1ICT(情報通信技術)システム、AI(人工知能)、ロボット等を活用した介護現場の効率化、業務改善 - 各部署生産性向上委員を中心に、ICT等を導入した業務改善の研究(夜勤ほか介助業務の軽減・省力化、利用者の重度化に向けた業務改善の検討など) - 機器導入時のサポート支援体制の強化
4.4 信頼を得るための情報発信の強化に取り組みます。	- 利用者家族に向けた情報発信の強化 - JA広報誌「夢あわせ」へ、介護悩みごとQ&A記事の寄稿 - 地域に向けた広報活動 - ブログの更新管理 - 情報発信ツールの検討(インスタグラムなど)
4.5 災害・非常時への対応を強化します。	4.5.1災害・非常時への対策・体制の整備 - BCPに基づく定期的な訓練(災害・感染症発生等の非常時対応、災害時における自家発電装置の稼働内容点検含む)、研修開催と計画の見直し - 災害発生時に向けた法人内連携、他法人との連携策の検討 - 職員安否確認システムの活用、訓練の実施 - 行政、他法人、地域との災害福祉支援ネットワークづくり
4.6 長期的視野に立った事業展開を検討します。	4.6.1ジェイエー長野会との事業統合に向けた体制整備 (経営の安定化による財務基盤の強化並びに安定的に人材を確保できる運営体制の整備) - 将来の松本地域の介護需要に対応した事業展開の研究 - 施設修繕計画の策定 - 事業統合後の地域やJA松本ハイランド各組織との連携に関する研究 - 人材確保、育成に向けた連携

令和7年度固定資産取得・修繕計画

単位：千円

年度／事業所	法人本部		特養和田		特養朝日		特養今井		松風園		入山辺	
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額		
R7	公用車	1,000	介護記録システム	5,000	特浴	6,500	職員洗濯乾燥機	400	電気温水器	200	洗濯機	150
	パソコン	815	マルチタスク車椅子	600	スチコン	1,000	パソコン	489	洗濯機	150	照明器具	180
			普通型車椅子	390	エアコン（共用部）	15,000			パソコン	1,141	手すり	253
			LED化	10,000	パソコン	815					IHコンロ（2口）	120
			非常用発電設備更新	10,236							倉庫	200
			厨房食器洗浄機	1,984							パソコン	326
			厨房消毒保管庫	661								
			2Fの複合機	200								
			床走行リフト	700								
			パソコン	1,793								
			灯油圧送ポンプ	814								
			パルモ見守りシステム	50,000								
合計		1,815		82,378		23,315		889		1,491		1,229

年度／事業所	和田デイ		朝日宅老		訪問看護		ヘルパー		和田福祉相談センター		今井福祉相談センター	
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
R7	非常用発電設備更新	1,656	パソコン	163	非常用発電設備更新	108	パソコン	652	訪問車両	1,000	パソコン	163
	厨房食器洗浄機	161			訪問看護車両	1,000			パソコン	978		
	厨房消毒保管庫	54			パソコン	326						
	パソコン	326										
合計		2,197		163		1,434		652		1,978		163

年度／事業所	河西部西包括		太陽光	
	項目	金額	項目	金額
R7	なし		なし	
合計		0		0

	総合計
R7	117,704

令和7年度事業量（利用）計画

1 和田特養（定員80名）（人）

		計
平均入居者	R6実績	72.5
	R7計画	76.0

2 和田短期入所（定員2名）（人）

		計
平均入所者	R6実績	2.2
	R7計画	2.0

和田長期短期合計（定員82名）（人）

		計
平均入所者	R6実績	74.6
	R7計画	78.0

3 朝日特養（定員28名）（人）

		計
平均入居者	R6実績	25.1
	R7計画	27.0

4 朝日短期入所（定員2名）（人）

		計
平均入所者	R6実績	3.1
	R7計画	2.0

朝日長期短期合計（定員30名）（人）

		計
平均入所者	R6実績	28.2
	R7計画	29.0

5 今井特養（定員29名）（人）

		計
平均入所者	R6実績	28.3
	R7計画	28.0

6 今井短期入所（定員5名）（人）

		計
平均入所者	R6実績	4.8
	R7計画	5.0

今井長期短期合計（定員34名）（人）

		計
平均入所者	R6実績	33.1
	R7計画	33.0

7 養護老人ホーム松本市立松風園（定員100名）（人）

平均入居者数			計
	特定	R6実績	42.9
		R7計画	43.0
	一般	R6実績	18.7
		R7計画	20.1
	障害者	R6実績	35.5
		R7計画	34.9
	合計	R6実績	97.0
		R7計画	98.0

8 入山辺（定員18名）（人）

		計
平均入所者	R6実績	17.6
	R7計画	17.8

9 和田デイサービスセンター（定員32名）（人）

平均利用者数			計
	介護	R6実績	22.1
		R7計画	23.0
	予防	R6実績	4.0
		R7計画	4.0
	合計	R6実績	26.1
		R7計画	27.0

10 朝日宅老所（定員19名）（人）

平均利用者数			計
	介護	R6実績	10.2
		R7計画	11.7
	予防	R6実績	2.9
		R7計画	4.0
	合計	R6実績	13.1
		R7計画	15.7

11 訪問看護ステーション（人、回）

		計
介護保険（利用者数）	R6実績	82.2
	R7計画	75.8
訪問回数（介護）	R6実績	364.6
	R7計画	341.7
医療保険（利用者数）	R6実績	9.1
	R7計画	7.9
訪問回数（医療）	R6実績	94.0
	R7計画	70.8

12 ヘルパーステーション（人、回）

		計
介護人数	R6実績	73.1
	R7計画	70.0
訪問回数（介護）	R6実績	1278.3
	R7計画	1235.0
予防人数	R6実績	43.2
	R7計画	43.0
訪問回数（予防）	R6実績	273.8
	R7計画	260.0

13 和田福祉相談センター（人）

			計
利用者数	介護	R6実績	228.7
		R7計画	231.0
	予防	R6実績	150.2
		R7計画	150.0

14 今井福祉相談センター（人）

			計
利用者数	介護	R6実績	113.1
		R7計画	115.0
	予防	R6実績	73.3
		R7計画	76.0

令和7年度 資金収支予算書(決算推定対比、簡易版)
千円未満端数処理のため合計が合わないことがあります。(単位:千円)

科目		R7予算 合計	R6年度 決算推定	予算-推定	R6対比
事業活動	【事業活動収入計】	1,464,410	1,450,428	13,982	101%
	主 支 出				
	【人件費支出】	934,513	946,086	△ 11,573	99%
	【事業費支出】	217,941	212,000	5,941	103%
	【事務費支出】	215,810	204,116	11,695	106%
	【事業活動支出計】	1,369,774	1,365,204	4,570	100%
	【事業活動資金収支差額】	94,636	85,224	9,412	111%
施設整備	【施設整備等収入計】	40,000	20,000	20,000	200%
	【施設整備等支出計】	126,704	73,192	53,512	173%
	【施設整備等資金収支差額】	△ 86,704	△ 53,192	△ 33,512	163%
その他	【その他の活動収入計】	17,608	20,228	△ 2,619	87%
	【その他の活動支出計】	17,608	20,228	△ 2,619	87%
	【その他の活動資金収支差額】	0	0	0	
予備費支出		3,300	0	3,300	
〔当期資金収支差額合計〕		6,932	32,032	△ 25,101	22%
前期末支払資金残高		627,273	652,061	△ 24,788	96%
〔当期末支払資金残高〕		634,205	684,094	△ 49,889	93%

科目		本部	和田累計	和田特養	和田ショート	和田デイ	訪問看護	和田福祉	松風園	朝日累計	朝日特養
事業活動	【事業活動収入計】	0	552,351	356,844	11,135	84,397	45,982	53,992	287,559	204,702	153,576
	主 支 出										
	【人件費支出】	3,844	366,726	219,316	5,858	63,053	35,497	43,002	127,369	141,779	102,748
	【事業費支出】	0	80,003	63,716	1,739	11,814	1,397	1,397	66,100	30,195	23,269
	【事務費支出】	590	64,359	50,422	1,323	7,077	2,214	3,322	73,883	24,651	20,227
	【事業活動支出計】	4,434	512,048	334,355	8,920	82,004	39,048	47,721	267,351	196,625	146,244
	【事業活動資金収支差額】	△ 4,434	40,303	22,489	2,215	2,393	6,934	6,271	20,208	8,077	7,332
施設整備	【施設整備等収入計】	0	40,000	40,000	0	0	0	0	0	0	0
	【施設整備等支出計】	1,815	91,987	86,378	0	2,197	1,434	1,978	1,491	23,478	23,315
	【施設整備等資金収支差額】	△ 1,815	△ 51,987	△ 46,378	0	△ 2,197	△ 1,434	△ 1,978	△ 1,491	△ 23,478	△ 23,315
その他	【その他の活動収入計】	6,249	10,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0
	【その他の活動支出計】	0	2,343	1,375	37	425	231	275	1,044	944	650
	【その他の活動資金収支差額】	6,249	7,657	8,625	△ 37	△ 425	△ 231	△ 275	△ 1,044	△ 944	△ 650
予備費支出		0	1,300	1,000	0	300	0	0	500	1,000	1,000
〔当期資金収支差額合計〕		0	△ 5,027	△ 16,264	2,178	△ 229	5,269	4,018	17,673	△ 16,345	△ 16,633
前期末支払資金残高		0	221,783	△ 9,510	21,065	61,274	97,548	51,406	274,912	△ 4,216	△ 28,380
〔当期末支払資金残高〕		0	216,756	△ 25,774	23,243	61,045	102,817	55,424	292,586	△ 20,562	△ 45,013

科目		朝日ショート	朝日宅老所	ヘルパー	入山辺	今井累計	今井特養	今井ショート	今井福祉	河西郡西地域包括	朝日太陽光
事業活動	【事業活動収入計】	9,830	41,296	77,121	92,039	213,064	160,985	25,660	26,419	35,760	1,813
	主 支 出										
	【人件費支出】	7,623	31,408	56,022	70,317	145,002	103,318	18,516	23,168	23,453	0
	【事業費支出】	1,763	5,164	1,485	13,504	25,967	21,296	3,915	756	666	21
	【事務費支出】	1,246	3,178	5,767	7,338	26,338	21,307	3,600	1,431	12,819	66
	【事業活動支出計】	10,632	39,750	63,324	91,159	197,577	146,190	26,031	25,355	36,938	317
	【事業活動資金収支差額】	△ 802	1,546	13,797	880	15,487	14,795	△ 371	1,064	△ 1,178	1,496
施設整備	【施設整備等収入計】	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	【施設整備等支出計】	0	163	652	1,229	6,052	5,889	0	163	0	0
	【施設整備等資金収支差額】	0	△ 163	△ 652	△ 1,229	△ 6,052	△ 5,889	0	△ 163	0	0
その他	【その他の活動収入計】	0	0	0	0	0	0	0	0	1,359	0
	【その他の活動支出計】	50	244	1,753	5,444	5,899	5,631	112	156	181	0
	【その他の活動資金収支差額】	△ 50	△ 244	△ 1,753	△ 5,444	△ 5,899	△ 5,631	△ 112	△ 156	1,178	0
予備費支出		0	0	0	0	500	500	0	0	0	0
〔当期資金収支差額合計〕		△ 852	1,139	11,392	△ 5,793	3,536	3,275	△ 483	745	0	1,496
前期末支払資金残高		△ 1,135	25,299	207,982	△ 33,930	△ 40,681	54,142	△ 78,378	△ 16,445	0	1,423
〔当期末支払資金残高〕		△ 1,987	26,438	219,374	△ 39,723	△ 37,145	57,417	△ 78,861	△ 15,701	0	2,919